



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社JMS
コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 桂 龍司
(氏名) 末田 穰
TEL 082-243-5844
配当支払開始予定日 2023年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	31,248	4.2	△320	—	△135	—	△258	—
2023年3月期第2四半期	29,975	6.0	△44	—	56	△91.8	△68	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,884百万円 (△18.7%) 2023年3月期第2四半期 2,317百万円 (202.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△10.58	—
2023年3月期第2四半期	△2.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	81,213	40,408	49.5
2023年3月期	74,407	38,700	51.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 40,235百万円 2023年3月期 38,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2024年3月期	—	8.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	1.2	100	△86.2	400	△31.8	100	△64.4	4.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	24,733,466 株	2023年3月期	24,733,466 株
2024年3月期2Q	251,046 株	2023年3月期	284,366 株
2024年3月期2Q	24,458,913 株	2023年3月期2Q	24,437,394 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「かけがえない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第2四半期連結結果計期間は、日本国内においては、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムの販売が引き続き好調であったほか、ニードルレスアクセスポート付輸液セットや白血球除去フィルター付血液バッグの販売が堅調に推移した一方で、栄養セットや医療用手袋、血液透析装置の販売が減少しました。海外においては、国・地域ごとに状況は異なるものの、医療需要の回復による市場の活性化を受け、主力の成分献血用回路や血液バッグ、中国向け血液透析装置が売上を伸ばしたほか、円安による円貨換算額の増加も加わり、売上を押し上げました。

以上の結果、売上高は、前年同四半期に比べ12億72百万円増加の312億48百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

利益につきましては、増収効果はあるものの、原材料費や電力費等の高騰に加え、需要拡大に備えた労務費の増加や、研究開発費も増加したことにより、営業損失は3億20百万円（前年同四半期は営業損失44百万円）となりました。また、持分法による投資利益や為替差益の計上などにより、経常損失は1億35百万円（前年同四半期は経常利益56百万円）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億58百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失68百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

薬剤調製・投与クローズドシステムやニードルレスアクセスポート付輸液セット、中国向け血液透析装置の販売が堅調に推移したものの、国内で栄養セットや医療用手袋、血液透析装置の販売のほか、欧州向けAVF針（血液透析用針）の販売が顧客の在庫調整で減少したことにより、売上高は207億84百万円（前年同四半期比2.7%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響に加え、研究開発費や販売活動費も増加したことから、1億1百万円の損失（前年同四半期は89百万円の損失）となりました。

(シンガポール)

停滞していた海外需要が回復基調にあり、成分献血用回路やアジア及びアフリカ向けの血液バッグの販売が増加したことに加え、円安による円貨換算額の増加もあり、売上高は110億8百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、原材料費や電力費等の高騰に加え、需要拡大に備えた労務費の増加もあり、1億94百万円の損失（前年同四半期は2億16百万円の利益）となりました。

(中国)

市場成長による需要の拡大基調は変わらないものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う透析患者数の一時的減少等によりAVF針や人工腎臓用血液回路の販売が減少したことから、売上高は18億59百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。また、セグメント損益については、減収影響や労務費の増加に加え、販売活動費や一般管理費の増加もあり、22百万円の損失（前年同四半期は56百万円の利益）となりました。

(フィリピン)

アジア向け血液バッグや成分献血用回路の販売が増加したことにより、売上高は18億89百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。また、セグメント損益については、増収効果はあるものの、原材料費や電力費の高騰に加え、血液バッグなど需要拡大に備えた労務費の増加もあり、36百万円の損失（前年同四半期は45百万円の利益）となりました。

(ドイツ)

欧州向け血液バッグの販売が好調に推移し、売上高は20億24百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により2億43百万円（前年同四半期比241.5%増）となりました。

(その他)

北米向けのAVF針や翼状針の販売が減少したことなどにより、売上高は18億80百万円（前年同四半期比25.6%減）となり、セグメント損益については41百万円の損失（前年同四半期は47百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ68億5百万円増加の812億13百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ55億87百万円増加の478億50百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ12億17百万円増加の333億62百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が増加したためであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ26億40百万円増加の250億77百万円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ24億57百万円増加の157億27百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ17億7百万円増加の404億8百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.3ポイント低下の49.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前年同四半期末に比べ36億3百万円増加の98億74百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ1億73百万円増加の4億7百万円となりました。この主な要因は、その他流動負債の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期に比べ6億39百万円減少の14億56百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、前年同四半期に比べ33億60百万円増加の43億77百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日付けの「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました2024年3月期(通期)の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,329	9,878
受取手形及び売掛金	17,197	17,495
商品及び製品	9,158	10,035
仕掛品	3,096	3,722
原材料及び貯蔵品	5,503	5,992
その他	1,008	757
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	42,263	47,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,219	9,552
機械装置及び運搬具（純額）	8,756	9,313
その他（純額）	8,032	8,042
有形固定資産合計	26,008	26,908
無形固定資産		
のれん	119	112
その他	728	662
無形固定資産合計	847	774
投資その他の資産		
投資その他の資産	5,372	5,771
貸倒引当金	△84	△91
投資その他の資産合計	5,287	5,679
固定資産合計	32,144	33,362
資産合計	74,407	81,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,699	8,217
短期借入金	4,002	2,965
1年内返済予定の長期借入金	3,916	7,664
未払法人税等	141	184
賞与引当金	1,111	1,161
その他	4,566	4,883
流動負債合計	22,437	25,077
固定負債		
長期借入金	11,599	13,875
役員退職慰労引当金	151	167
退職給付に係る負債	500	535
資産除去債務	189	312
その他	828	837
固定負債合計	13,270	15,727
負債合計	35,707	40,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	17,514	17,041
自己株式	△219	△194
株主資本合計	35,057	34,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	362	636
為替換算調整勘定	3,110	4,988
その他の包括利益累計額合計	3,473	5,625
非支配株主持分	169	172
純資産合計	38,700	40,408
負債純資産合計	74,407	81,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	29,975	31,248
売上原価	23,132	24,466
売上総利益	6,842	6,781
販売費及び一般管理費	6,887	7,102
営業損失(△)	△44	△320
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	27	25
持分法による投資利益	—	104
為替差益	98	43
その他	97	124
営業外収益合計	231	302
営業外費用		
支払利息	79	96
持分法による投資損失	42	—
その他	7	21
営業外費用合計	130	117
経常利益又は経常損失(△)	56	△135
特別利益		
固定資産売却益	6	1
投資有価証券売却益	57	—
特別利益合計	63	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	15	6
特別損失合計	15	7
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	104	△140
法人税、住民税及び事業税	152	139
法人税等調整額	40	△13
法人税等合計	193	126
四半期純損失(△)	△88	△267
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	△8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68	△258

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△88	△267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	273
為替換算調整勘定	2,433	1,878
その他の包括利益合計	2,406	2,152
四半期包括利益	2,317	1,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,338	1,881
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	104	△140
減価償却費	1,791	1,820
のれん償却額	9	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△6
受取利息及び受取配当金	△35	△30
支払利息	79	96
為替差損益 (△は益)	△99	△64
持分法による投資損益 (△は益)	42	△104
固定資産売却損益 (△は益)	△6	△0
固定資産廃棄損	15	6
投資有価証券売却損益 (△は益)	△57	—
売上債権の増減額 (△は増加)	147	71
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△538	△1,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	△705	△581
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△53	117
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△116	243
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△113	416
その他	11	△11
小計	470	554
利息及び配当金の受取額	35	30
利息の支払額	△80	△79
法人税等の支払額	△192	△98
営業活動によるキャッシュ・フロー	233	407

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,985	△1,368
有形固定資産の売却による収入	6	6
無形固定資産の取得による支出	△36	△28
事業譲受による支出	△10	△46
投資有価証券の取得による支出	△40	—
投資有価証券の売却による収入	96	—
その他	△126	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,095	△1,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,301	6,096
短期借入金の返済による支出	△7,783	△7,240
長期借入れによる収入	5,350	7,255
長期借入金の返済による支出	△2,521	△1,408
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△207	△207
リース債務の返済による支出	△122	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,016	4,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	304	220
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△540	3,548
現金及び現金同等物の期首残高	6,810	6,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,270	9,874

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,291	5,281	1,000	7	1,866	27,447	2,527	29,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,069	5,234	878	1,660	3	9,847	—	9,847
計	21,361	10,515	1,878	1,668	1,870	37,294	2,527	39,822
セグメント利益又は損失(△)	△89	216	56	45	71	299	△47	251

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	299
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△47
セグメント間取引消去	△133
持分法投資利益又は損失(△)	△42
その他の調整額	△19
四半期連結損益計算書の経常利益	56

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,421	6,998	912	10	2,024	29,367	1,880	31,248
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,362	4,010	947	1,878	0	8,199	—	8,199
計	20,784	11,008	1,859	1,889	2,024	37,567	1,880	39,447
セグメント利益又は損失 (△)	△101	△194	△22	△36	243	△110	△41	△152

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△110
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	△41
セグメント間取引消去	△95
持分法投資利益又は損失 (△)	104
その他の調整額	8
四半期連結損益計算書の経常損失 (△)	△135